

# 和歌山だよい

平成23年 12月号



田原海岸の朝霧 (串本町)

## CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P8
3. お知らせ…………… P9～P10
4. ふるさと歳時記…………… P11

～紀伊半島大水害～

**まけるな!!**  
**和歌山**

## 「2011年を振り返って」

今年3月の東日本大震災の余燼<sup>よじん</sup>さめやらぬ9月初め、台風12号に伴う歴史始まって以来の豪雨による大水害によって、紀南を中心に多くの方々が大変な被害に遭われました。ただでさえ長年の県勢停滞の中で何とか浮上のきっかけをつかもうとしていた当県に対して、数年来の不況、東日本大震災による悪影響、円高の進展による景気の一層の低迷に加え、紀伊半島大水害の打撃が襲いかかってきています。まさに当県は危機のさ中にあると申し上げてもよいでしょう。

しかし、県民の皆さん、我が和歌山県は、歴史上危機を迎えた時にこそ底力を発揮し、かかる危機を跳ね返してきました。紀州55万石が消滅した後、産業が澎湃<sup>ほうはい</sup>として起こって力強く経済発展を遂げたのも当県なら、戦後の焼野原の中から一早く復興を果たしたのも当県です。

和歌山県民が今回の危機を跳ね返せないわけがありません。事実、大水害に際してその力は既に発揮されつつあります。あれほど広範な打撃を受けた我が県のインフラは、県民の団結と献身によって奇跡のスピード復旧を遂げました。生活再建も、経済復興もそのための枠組みが既に固まり、さあこれからです。皆で力を合わせてがんばりましょう。全国、全世界の方々も応援してくれるはずであります。「まけるな和歌山」と。



紀勢線復旧記念セレモニーで挨拶する仁坂知事

## 今月の和歌山県政トピックス

\*最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします

### ● JR紀勢線が全線復旧しました！

・12月3日、台風12号に伴う水害により不通となっていたJR紀勢線の紀伊勝浦駅～新宮駅間が開通し、JR紀勢線が全線復旧しました。

・当初は年内の全線復旧は困難と考えられていましたが、一日も早い復旧を望む多くの声に応じて、昼夜を徹しての工事が行われた結果、災害から3ヶ月でのスピード復旧となりました。

・当日は、新大阪駅から新宮駅に向かう一番列車となる「オーシャンアロー1号」の出発と到着に合わせて、記念式典が開催されました。

・新大阪駅の出発セレモニーでは、仁坂知事は、「大変な災害でしたが、多くの皆様のご協力のもと県民が力を合わせて立ち上がりました。安心して和歌山へお越し下さい」と挨拶。テープカットの後、そのまま列車に乗り込み、新宮駅へ向かいました。



・那智川の橋梁近くにある那智大橋の上では、「たくさんの応援ありがとう」と書かれた横断幕が掲げられ、復旧を喜ぶ地元の方々がオーシャンアローに向かって手を振って歓迎しました。また、新宮市の王子ヶ浜でも砂浜に白い石をならべて「おかえりJR」の文字を作り出して、全線復旧を喜びました。

・オーシャンアロー号が新宮駅に到着すると、「熊野曼荼羅太鼓」の勇壮な演奏が乗客を出迎えました。駅前広場で開催された記念式典で、仁坂知事は「皆さんと一緒に一層の復興をめざしていきたい」と本格的な復興に向けて、改めて決意を示しました。

### ● 湍峡ウォータージェット船も復活しました！

・12月21日、新宮市熊野川町の観光遊覧船「湍峡ウォータージェット」が台風12号の水害から3ヶ月半ぶりに営業を再開しました。

・この再開にあわせて、運行する熊野交通株式会社、和歌山県や新宮市等により「元気で和歌山 湍峡ウォータージェット船復活キャンペーン」を開催しています。

・3月13日までの期間中、乗船料が半額となるほか、先着順で紀州手まりのキーホルダーのプレゼントや応募による新宮市特産品のプレゼントなど盛りだくさんです。ぜひこの機会にお越し下さい。

● 「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」が制定されました。

・ 5月22日に、天皇皇后両陛下をお迎えして成功裡に行われました「全国植樹祭」の精神を後世に伝えつつ、森林及び樹木を守り、育てるための施策を推進するために「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」が制定されました。

(前文)

和歌山は、紺碧の黒潮が洗う紀伊半島に位置し、穏やかな気候と豊かな水の恵みが育んだ美しい紀伊の山々があり、日本の山々に樹木の種を播き、青山となした神が鎮まるところと神話に記された「木の国」である。

木の国和歌山の森林は、木材に代表される様々な林産物を供給するだけでなく、清らかな水を蓄え、災害から県民の暮らしを守り、多様な生態系を支える、まさに恵みの森である。

この恵みの森は、万葉の時代から歌に詠まれてきた美しい自然及び世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される景観を形成し、先人が守り、受け継いできた貴重な財産である。

また、私たちの身近にある樹木は、やすらぎ、癒し、良好な景観の形成など様々な恩恵を私たちにもたらしてくれている。

平成23年5月22日、世界中の森林の保全に関する認識を高めることを目的に定められた国際森林年に当たる重要な年に、和歌山県で第62回全国植樹祭が開催された。

第62回全国植樹祭では、1万人を超える多くの子どもたちが竹ポットによる苗木の育成に取り組み、樹木を慈しむ心を育むとともに、全国に向けて、森林及び樹木の大切さを広く発信した。

私たちは、森林及び樹木がもたらす様々な恩恵を再認識し、県民総参加で木の国和歌山の森林及び樹木を守り、又は育てていくことを決意し、この条例を制定する。

(内容の要約)

○ **基本理念**

- ・ 森林及び樹木は、県、市町村、森林所有者、県民、事業者などの協働により持続的に守り育てられなければならない

○ **それぞれの役割**

- ・ 県の責務、市町村との連携、森林所有者の役割、県民等の役割を明確化

○ **基本的施策（主要な事項）**

- ・ 森林の保護及び保全・ 森林整備の推進・ 多様な主体による森林保全の推進  
効率的な森林施業の実施・ 紀州材の利用拡大・ 樹木の育成及び植樹 など

○ **わかやま森林と樹木の日及び顕彰**

- ・ 「わかやま森林と樹木の日」を設ける（毎年5月22日）
- ・ 森林及び樹木を守り育てる活動を顕彰する



● 第5回きのくにロボットフェスティバル2011開催！！

・ 12月24日、御坊市立体育館において「第5回きのくにロボットフェスティバル2011」が開催されました。この大会は小中高校生がロボットコンテストに参加することや、最先端ロボットを体験することで、科学技術への関心を高め、将来の日本の「ものづくり」を支える人材を育成することを目的としています。

・ 5回目となる今回の大会には和歌山を含めた近畿2府4県に福井県、さらに初参加となる岐阜県の小中学生加わり、自慢のロボットで熱戦を繰り広げました

・ また、競技の合間には、災害対応ロボットや人間に近い外観・形態をもったロボットなど研究の最先端をいくロボットの実演を行われ、子ども達にとって、日本のものづくりにふれ、将来への夢がかき立てられる一日となりました。



● 紀伊半島大水害復興キャンペーン

～そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン2012～

- ・1月20日から2月2日まで、首都圏で大規模誘客イベント「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン2012」を「紀伊半島大水害復興キャンペーン」と併せて実施します。
- ・今回は、本県出身の芸能界、スポーツ界を代表する方々にもご協力いただき、マスコミや旅行会社の関係者はもとより、首都圏在住者に向けて「復興した和歌山」「元気な和歌山」を大々的にアピールします。期間中は自治体初となる和歌山広告トラックの運行、JR山手線主要駅でのポスターの集中掲示、新聞、雑誌、テレビ等で観光情報の集中露出など、水害以降減少している本県への観光誘客を促進します。

そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーンオープニングイベント  
1/20 19:00～ 原宿クエスト

首都圏のマスコミ、旅行エージェント等関係者を対象に、和歌山の復興をPRするプレゼンテーションイベントを開催します。

- 仁坂知事と本県出身の芸能・スポーツ関係者による和歌山復興宣言や
- ゲスト全員によるキャンペーンテーマソング披露
- 県内各被災地からの復興メッセージの紹介
- 「笑い祭」「奥熊野太鼓」「マグロ解体」の実演と県内各地域の特産品を案内



ウインズ  
(テーマソング)



岡本 玲さん  
(わかやまパンダ大使)



坂本冬美さん



東尾 修さん  
(元西武ライオンズ 監督)



木村竹志さん  
(元西武ライオンズ 投手)



JVA承認2011-12-003  
植田辰哉さん  
(日本男子バレー監督)



田中和仁さん  
(体 操)



田中理恵さん  
(体 操)



田中佑典さん  
(体 操)



湯元健一さん  
(レスリング) \*調整中



湯元進一さん  
(レスリング) \*調整中

和歌山復興PRイベント

1/21 ~ 1/22

JR有楽町駅前 ITOCIA前イベントスペース

- ウインズミニコンサート
- 笑い祭と奥熊野太鼓の実演
- 銀座熊野詣体験
- 和歌山観光物産展など多彩なイベントを実施



**和歌山広告トラック**

**1/20 ~ 2/2**

電飾看板を配置した広告トラック3台「わかぱん号」、「たま号」、「こうやくん号」をJR山手線主要駅周辺の特に入通りの多い箇所を中心に運行します。(毎日12:00~21:00)

※ウインズ・キャンペーンテーマソング ♪和歌山LOVESONG♪放送運行予定



**わかやま講座「和歌山てらこや」**

**2/4 ~ 2/5 JR浜松駅前文化放送本社メディアプラスホール**

- 2/4 第1部 14:00~15:30  
釣り鐘物語 道成寺の鐘が歩んだ歴史:小野俊成(道成寺副住職)
- 第2部 17:00~18:30  
創作落語「熊野詣」と熊野曼荼羅の絵解き:熊野亭雲助 今熊野比丘尼
- 2/5 第1部 11:00~12:30  
道成寺物の世界:小野俊成(道成寺副住職)
- 第2部 17:00~18:30  
創作落語「熊野詣」と熊野三山参詣曼荼羅の絵解き:熊野亭雲助 今熊野比丘尼

**キャンペーン連動イベント**

- ふるさとまつり東京(和歌山横丁を出展)  
東京ドーム1/7~15
- プレミアム和歌山カフェ  
トラベルカフェ飯田橋店 1/15まで  
トラベルカフェラゾーナ川崎プラザ店 2/24まで
- わかやま田舎暮らしセミナー  
ふるさと暮らし情報センター(中央区銀座4-14-11 七十七ビル3F) 1/20  
ニッセイ・ライフプラザ品川(港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー2F) 1/21
- 熊野学フォーラム  
明治大学アカデミーコモン 1/21
- 2012 体験学び感動の修学旅行セミナー  
ホテルメトロポリタンエドモント 1/26

詳しくはわかやま喜集館ホームページ内のキャンペーンサイトへ  
→ <http://www.kishukan.com/>

### ● 和歌山県政 この一年

#### 上半期 1月～6月

##### 鳥インフルエンザが発生

2月15日、紀の川市の養鶏場で、高病原性鳥インフルエンザが発生。自衛隊の応援を含め延べ約2,600名を動員し速やかに防疫措置を実施しました。その後、新たな発生はなく3月14日に終息宣言を出しました。

##### 東日本大震災発生

3月11日、東日本大震災が発生し、甚大な被害をうけた被災地を支援するため、3月14日に「被災地支援対策本部」を立ち上げました。

また、この震災を受けて、本県で近い将来に予想されている東南海・南海地震などの大規模災害に備えて、防災・減災対策の総点検を行いました。

##### 2病院同時に高度救命救急センターに指定

4月1日、和歌山県立医科大学附属病院と日本赤十字社和歌山医療センターが2ヶ所同時に「高度救命救急センター」に指定されました。この指定により、医療設備の補助金などを受けることが可能になり、医療機能の充実が図られます。

##### 阪和自動車道（海南IC～有田IC）4車線化完成

5月21日、4車線化の工事が完了した阪和自動車道海南IC～有田IC間の供用が開始されました。有田IC以南についても、国に対して4車線化の早期事業化を強く働きかけています。

##### 第62回全国植樹祭を開催

5月22日、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、「緑の神話 今 そして未来へ 紀州木の国から」をテーマにした第62回全国植樹祭を田辺市の新庄総合公園で開催しました。テーマにふさわしく、未来の森を担う子どもたちをはじめ多くの県内外の方にご参加いただき、「木の国」和歌山から緑豊かな森を守り育てていくことの大切さを広く発信することができました。



##### 紀の国わかやま国体のマスコットデザインが決定

6月7日、2015年に開催される「紀の国わかやま国体」の紀州犬をモチーフとしたマスコットキャラクターのデザインが決定。その後、愛称を公募し、「きいちゃん」となりました。また、公開競技とデモンストレーションスポーツの実施競技と会場も決定し、紀の国わかやま国体は開催に向けて、着々と準備が進められています。



**下半期 7月～12月****景観支障防止条例を制定**

著しく劣悪な景観により県民の生活環境が阻害されることを防止するため、景観上支障となる廃墟への対策として、「建築物等の外観の維持保全及び景観支障状態の制限に関する条例（通称：景観支障防止条例）」を制定しました。この条例は来年4月1日から施行されます。

**第60回全国農業コンクール開催**

7月14日、第60回全国農業コンクールが秋篠宮同妃両殿下をお迎えして、和歌山市において開催され、和歌山県をはじめ全国から選ばれた20代表が栽培技術や農業経営の先進事例を発表しました。

**和歌山県勲功爵称号授与式を開催**

7月24日、白浜町にあるアドベンチャーワールドのパンダファミリーに「和歌山県勲功爵」の称号を授与しました。あわせて、本県出身の若手女性タレント岡本玲さんを和歌山のパンダを全国に発信する「わかやまパンダ大使」に委嘱しました。

**台風12号による豪雨災害**

9月2日から4日にかけて、台風12号に伴う豪雨が紀伊半島を襲い、河川の氾濫、浸水、土砂災害などが相次ぎ、死者・行方不明者が57名にのぼる甚大な被害が発生しました。寸断されたライフラインや道路交通網は、12月3日のJR紀勢線の全線復旧を最後にほぼ元に戻り、現在は、11月1日に発表した「復旧・復興アクションプログラム」に基づき本格的な復興にむけた取り組みが進められています。

**南方熊楠シンポジウム開催**

10月2日、東京都千代田区の明治大学アカデミーホールにおいて、「南方熊楠シンポジウム～南方熊楠のエコロジー思想とは何か？～」を開催し、会場は1300人を超える聴衆で満員となりました。このシンポジウムの模様はNHKで全国放映されました。

**津波防災の日制定記念稲むらの火シンポジウム開催**

11月5日、和歌山市において津波防災の日制定記念「稲むらの火シンポジウム」を開催しました。東京と和歌山を映像回線で結び、濱口梧陵の偉業を通して、地震津波などに対する大災害への備えが話し合われました。

**和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例を制定**

第62回全国植樹祭の精神を後世に伝え、森林及び樹木を守り、育てるための施策を推進するために「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定しました。

### ● 平成23年度和歌山県文化表彰の受賞者が決定

・平成23年度和歌山県文化表彰の受賞者が決定しました。文化表彰は、昭和39年に創設された歴史ある賞で、文化賞、文化功労賞、文化奨励賞の3種類の賞があり、今年度で48回目になります。授賞式は1月16日に県庁正庁で行われます。

文化表彰受賞者（50音順・敬称略）

○文化賞（文化の向上発展に特に顕著な業績を示し、和歌山県の誇りに値すると認められる方を表彰）

坂本冬美（歌手）、中辻憲夫（京都大学教授 幹細胞生物学者・発生生物学者）

○文化功労賞（文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方を表彰）

岩橋延直（和歌山児童合唱団育成会会長、和歌山県日中友好協会会長 文化活動・国際交流）

○文化奨励賞（すぐれた文化の創造と普及活動を続け、将来一層の活躍が期待できる方を表彰）

助野嘉昭（漫画家）、原 大樹（プロマジシャン）、湯川雅紀（洋画家）

劇団華岡青洲（アマチュア劇団）

#### 文化賞受賞者からのコメント



坂本冬美さん

この度の賞は「まだまだ頑張り」との激励と受け止め、これからも故郷和歌山の皆様に喜んで頂けますよう、歌の道に精進してまいります。名誉ある賞をありがとうございます。



中辻憲夫さん

和歌山県は、高校までの思い出多い自然と歴史豊かな地です。私が科学者となる道を選んだのも、その自然環境と中学高校で受けた教育の影響が大きいです。今回名誉ある文化賞を頂くことは、大きな喜びです

### ● 第64回全国高校バレーボール高等学校選手権大会出場校壮行式開催！

・12月14日、「全国高校バレーボール高等学校選手権大会」に出場する、開智高校（男子代表 17年連続17回目）と和歌山信愛女子短期大学附属高校（女子代表 3年連続29回目）の健闘を祈念するため壮行式を開催しました。

・仁坂知事は、「皆さんの立派な顔つきからも実力がうかがえます。頑張ってください」と両校を激励。

・大会は1月5日から9日までの間、東京体育館（東京都渋谷区）において開催されます。みなさん応援をお願いします。



# まるかじりわかやま

和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

## みかんでビタミンC

風邪が流行する時期がやってきましたね。みかんで2個食べると、1日に必要とされるビタミンCを摂取することができます。免疫力を高める効果が期待できると言われているので、風邪予防のためにたくさんみかんを食べましょう！

みかんの実を包んでいる薄くて白い袋は「じょうのう膜」と呼ばれ、食物繊維などが豊富に含まれているので、袋ごと食べてくださいね♪

さて、和歌山県はみかんの収穫量が全国1位を誇っています(平成22年農林水産統計)。温暖な気候と水はけの良い傾斜地など、恵まれた条件で栽培されるみかんは糖度が高く、濃い味に仕上がります。ぜひ、この冬は和歌山みかんをいっぱい食べてくださいね！



## 「ココ・カラ。和歌山」フェスティバルin Tokyo

みかんをはじめとした和歌山の美味しさをPRするため、平成23年11月19日(土)、20日(日)の2日間、JR恵比寿駅西口において“「ココ・カラ。和歌山」フェスティバルin Tokyo”が開催されました。ちょこっと様子をのぞいてみましょう。



開園式では、和歌山県知事(写真中央)、タレントの「ハリセンボン」さん(写真右)とJA関係者(写真左)によるテープカットとトークショーが行われました。トークショーでは、和歌山県産品の魅力を大いに発信しました。

『「ココ・カラ。和歌山」機能性フォーラム』で提供された料理にこんなメニューが！「うめどりのみかん煮」です。ビタミンCがいっぱい摂れそうですね。



約2,000個のみかんがなる“みかん果樹園”が特設され、子どもたちがみかん狩りを体験！

『プレミア和歌山ガールズナイト・アウトwithJAグループ和歌山』には、和歌山県出身のモデル・阪井あゆみさん(写真左)も登場。みかんの皮のむき方や梅ジュースの講習会を行いました。みなさん熱心にお話を聞いていました。



## Noël Arida Sweets Contest 2011

平成 23 年 10 月 15 日、有田みかんを使ったクリスマススイーツを競う『Noël Arida Sweets Contest 2011』が、有田市文化福祉センターにおいて開催されました。全国から応募があり、書類による一次審査を通過したのは 10 作品(応募総数 47 作品)。有名パティシエの鎧塚俊彦さんら 10 名の審査委員が試食審査を行いました。

栄えある「最優秀 Toshi Yoroizuka 賞」に輝いたのは愛知県・東佳世さんの『Arida-chocolat l'orange(アリダ・ショコラ オランジェ)』。審査委員の方から「チョコレートにも負けず、みかんの味が出ている」との声が聞かれました。

ベースはチョコレートとマロンを使ったリッチなバターケーキ。その上に、なめらかなオレンジのババロアとヨーグルトクリームをのせたプチガトー。

みかん果汁を煮詰め、果肉も入れた濃厚なオレンジソースがみかんの風味とコクを出しています。



Arida-chocolat l'orange(アリダ・ショコラ オランジェ)

審査委員長である鎧塚さんが、東日本大震災の被災地でスイーツを振る舞った際、みなさんの笑顔を見て“スイーツには人を癒す力があると感じた”とお話して下さったのが、心に残りました。スイーツを通じて、もっともっと有田市をはじめとした和歌山県、そして日本を元気にしていきたいですね。

<アリダ・ショコラ オランジェ 取扱店(お問い合わせ先)>

【Toshi Yoroizuka Mid Town店】

東京都港区赤坂9-7-2 東京ミッドタウン・イースト1F

B-0104

TEL:03-5413-3650

【レピマルカ】 和歌山県有田市箕島86-8 TEL:0737-82-3547

【(株)サブール】 和歌山県和歌山市ト半町22 TEL:073-422-8092

【パティスリーエルヴェ】

和歌山県和歌山市中之島285-9 TEL:073-472-7388

※注意※アリダ・ショコラ オランジェの販売期間・数量やアレンジは、お店によって異なります。詳細は、直接お店にお問い合わせ

有田みかんを使った商品には、こんな商品もあります！

○アイス(氷結)ワイン『姫木花』

○リキュール『薫木花』

○アイス(氷結)ワイン

『有田みかんのアイスなワイン』

☆詳細はこちら☆

有田市HP→くらしの情報→お知らせ→

「有田みかんアイス(氷結)ワイン・リキュール商品化決定」

## ～ 復興と再生を願って熊野へ初詣 ～

## 熊野本宮大社（田辺市本宮町）

・ 大晦日の午後5時から除夜祭、元日は午前2時から開寅祭が執り行われます。これは、午前2時～午前4時の2時間、各御本殿の御扉を開き、神様にご挨拶出来る貴重な時間として、この時間に参る事を古くから「開け寅詣で」といい、一層のご利益を頂く事が出来ると言われています



## 熊野速玉大社（新宮市）

・ 境内にある神木の「ナギの木」の大樹は天然記念物に指定されています。ナギの葉は引っ張っても切れにくいことから縁結びとして、また海の風にも通じることから家庭平穏として昔から信仰を集めています。

・ 大晦日の午後4時から大祓式が行われた後、午後5時から除夜祭が行われます。

・ 元日は午前0時に神門を開き、午前6時から歳旦祭が行われます。



## 熊野那智大社（那智勝浦町）

・ 元日午前0時から太鼓が鳴り響く中、初祈禱が行われ、続いて午前5時から歳旦祭、2日は牛王神璽摺初式、3日は元始祭と3が日に渡り、祭事が続きます。

・ 恒例となっている那智の滝のライトアップも例年どおり実施されます。31日の日没から元日の日の出まで、2日と3日は午前5時から日の出までと3が日に渡って行われ、幻想的な雰囲気の中で初詣客を出迎えます。



## ～編集後記～

今年も早いもので、残すところあと僅かとなりました。皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、先日、この時期の恒例となっている「今年の漢字」が発表されました。全国から応募があった中で、第一位となったのが「絆」、二位以下は「災」、「震」、「波」、「助」と続くということで、やはり災害に結びつく漢字が上位を占めており、平成23年を象徴する結果となりました。

改めて、平成23年を振り返って見ますと、3月11日の東日本大震災、そして9月当初に本県を襲った台風12号による大水害と日本列島は度重なる災害に見舞われました。自然の脅威を思い知らされるとともに、改めて、災害への備えの必要性が問われました。そして同時に、災害によって家族の絆や地域の絆など、様々な人と人の結びつきが見つめ直されました。

災害は余りにも多くのものを残しました。私たちは、それら一つ一つを検証し、みつめ直し、より良い社会を作っていかなければならないと思います。

新しい年を迎え、また新たな「絆」が生まれ、「絆」がより深まり、それらが大きな原動力となって、ふるさと和歌山、そして日本を復興、再生へと導くことを願いたいと思います。

寒さが厳しくなる折、皆様方には風邪など召さぬよう、お体に十分気をつけてお過ごし下さい。そして来るべき来年が皆様方にとりまして、素晴らしい年でありますことを心からお祈りいたします。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2011年(平成23年)12月 NO.45  
和歌山県 秘書課  
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1  
TEL 073-441-2022